

「市政 ここが聞きたい」

一般質問

一般質問とは
質問内容
発言時間

議員が執行機関に対し、市政運営全般に対して行う質問です。
議案とは関係なく議員が決めて、事前に通告しています。
質問と答弁を合わせて、一人 60 分です。



1	野中 宣明 (公明党)	○スポーツコミッションについて ▶ 中学校の部活動について
2	重田 音彦 (自民市政会)	○中期財政計画について ▶ 福岡市との連携について ▶ 土砂災害対策について
3	稲葉 高広 (自民さが)	○本市の刑法犯対策について ▶ 中心市街地への事業者の新規参入について ▶ コンベンション誘致の推進について ▶ 今後の富士大和温泉病院の経営について
4	吉川 正剛 (公明党)	○佐賀市シニア活動マッチングサイト「いくよう」について ▶ 土地改良区の役割と持続可能性について
5	藤井 英貴 (自民市政会)	○防犯ブザー（GPS・通話機能付き）について ▶ 市外在住者の保育園等入所について ▶ 児童発達支援からの放課後等デイサービスについて ▶ 街路樹の落ち葉清掃について
6	徳永 文子 (ネットワーク佐賀)	○学校のトイレ改修について ▶ 市職員の働き方について
7	山本 愛 (日本共産党)	○投資詐欺から市民の資産と生活を守るために ▶ 高齢者の補聴器購入助成について
8	村岡 卓 (公明党)	○学校図書館の充実について ▶ 多様な働き方について
9	藤田 佳典 (ネットワーク佐賀)	○プラスチックごみ対策について ▶ 交通安全対策について
10	西岡 真一 (自民清流)	○文化財の利活用について ▶ 鳥獣被害対策について
11	御厨 洋行 (自民清流)	○市道三溝線（サンライズストリート）の環境改善と周辺エリアの交通安全対策について ▶ 人と動物の共生のための取組について
12	中尾 和幸 (自民さが)	○避難所の状況について
13	諸富 八千代 (自民市政会)	○佐賀市の女性活躍推進について ▶ 子どものウェルビーイングの実現について ▶ 二十歳のつどいについて
14	中島 妙子 (公明党)	○認知症を発症しても安心して暮らせる社会づくりについて ▶ オストメイトへの支援について

15	宮崎 健 (自民さが)	○障がい者政策について ▶ 投票率向上について
16	山下 勝也 (参政党)	○コロナワクチン接種後の検証について ▶ 在留外国人の現状について
17	江口 由里子 (ネットワーク佐賀)	○佐野常民と三重津海軍所跡の歴史館について ▶ 放課後児童クラブについて
18	山田 宏一郎 (自民市政会)	○市街化調整区域の利点と集落維持について ▶ 屋外スポーツ施設の暑さ対策について
19	山田 誠一郎 (ネットワーク佐賀)	取り下げ
20	重松 徹 (自民清流)	○空き家対策の取組について ▶ 佐賀県産ノリの状況について
21	川崎 健二 (自民さが)	○ごみのポイ捨てをなくしてきれいな佐賀市へ ▶ 入札制度について ▶ 子どものインフルエンザワクチン接種の補助について
22	南里 朱美 (STEP-UP FOR SAGA)	○指定ごみ袋制度の利便性向上と生活実態への配慮について ▶ サポートママ・ファミリーサポート事業について
23	川副 龍之介 (自民さが)	○野外焼却について
24	江原 新子 (自民さが)	○LibreOffice（リブレオフィス）導入について ▶ ふるさと納税の取組状況について
25	岡山 香織 (自民市政会)	○ネット依存から子どもを守るために ▶ 民生委員の活動について ▶ 図書館の利便性向上について
26	山崎 純 (自民市政会)	○不登校児童・生徒への対応について ▶ 中核市移行について
27	山下 明子 (市民共同)	○政策決定の場に当事者の参画を ▶ 放課後児童クラブが安心できる居場所であるために ▶ 老人クラブの位置づけと支援策 ▶ 訪問介護事業への支援検討のその後は

番号は質問順、() 内は党派等、掲載は大項目のみです。
○がついている項目は、次ページ以降に詳細を掲載しています。

令和8年度
佐賀市の予算

令和8年2月
定例会の概要

議案等質疑

常任委員会の
審査報告

一般質問

委員会
活動レポート

佐賀市議会ガイド



スポーツコミッション設立に向けて



問 ①スポーツコミッションは地域のさまざまな社会課題をスポーツの力を生かし解決することを目指す「官民連携による組織」であり、早期の設立を求めますがどうか②庁内での位置付けを明確にした上で戦略的に部署間連携を図り効果を最大化すべきであるがどうか。

答 ①1年後にはスタートできるような、令和8年度は組織の形態や具体的な事業内容、収支計画等を整理し、準備を進めていきたい②まちづくりや経済、観光、教育など多岐にわたる分野の課題をスポーツを生かして解決できないかという視点で捉え、設立準備段階からそれらを共有していくことがこの取り組みを成功させる鍵になるのではないかと考えている。今後、全庁的に十分連携を図りながら立ち上げに力を尽くしていきたい。



ツノスポーツコミッション(宮崎県都農町)を視察

令和8年度
佐賀市の予算

令和8年2月
定例会の概要

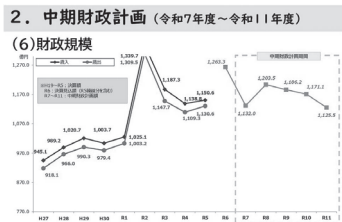


中期財政計画は分かりやすい作りに



問 ①中期財政計画はどのような観点で作成しているのか②現計画は分かりにくく具体的な事業名を入れるなど改良すべきと思うが③また、収支調整のために一般経費が圧縮されるなど実態に即した内容ではないと思われる。実態に即した計画に見直すべきでは。

答 ①単年度予算だけでは補足できない将来の歳入歳出の見通しを中期的に推計し、計画的に財政運営を進めるため②できるだけ具体的な情報を掲載し、分かりやすい内容となるよう工夫していきたい③財政計画という性格上、収支の均衡を図る必要がある。このため計画期間の2年目以降は基金繰入れのほか社会資本経費や一般経費の圧縮を見込むことで収支の調整を行っている。収支の調整など財政計画の情報提示の手法については、引き続き工夫していきたい。



佐賀市の中期財政計画

議案等質疑

常任委員会の
審査報告



特殊詐欺から市民を守れ!



問 近年、佐賀市では刑法犯の認知件数が増加している。その中でも突出して増加しているのが知能犯であり、その多くを占めるのは特殊詐欺だ。本市では啓発等のソフト対策に取り組んでいるが、実行力を伴うハード対策にも取り組んでみてはどうか。

答 本市では被害の未然防止のため、高齢者を対象に特殊詐欺の主な手口となっている国際電話の利用休止の取り組みを進めているが、他自治体では通信録音機能付電話機や自動通話録音装置への補助等の取り組みを実施しているところもある。また、民間通信会社の迷惑電話拒否サービスや携帯電話への対策として警察庁推奨の特殊詐欺対策アプリなどの開発も進められている。今後も佐賀県警察と最新の情報を共有しながら、より実効性のあるハード対策について調査研究を進めたい。

国際電話は詐欺の疑いが大!

一般質問

委員会
活動レポート



「いくよう」で充実の人生を!!



問 佐賀市シニア活動マッチングサイト「いくよう」について①掲載している活動内容は②参加者や事業者の費用負担は③掲載事業者や掲載内容の安全性は④パソコンやスマートフォンを持たない人への対応は⑤利用者アンケートを実施し、広報に生かしてはどうか。

答 ①シニア世代を対象とした仕事やボランティア活動、趣味や学びといった幅広い分野を掲載している②多様な活動の登録を促し参加機会の拡充を図るため、利用料は無料としている③市が事業者情報や活動内容を確認した上で掲載している④シニア世代への利用支援を行うシニアサポート窓口をシルバー人材センター内に設置し、対応している⑤参加者や事業者へのアンケート実施によるニーズの把握や好事例の紹介など、魅力ある情報発信について検討していきたい。

佐賀市シニア活動マッチングサイト「いくよう」

佐賀市議会ガイド



子どもを守れ!! 次世代の防犯

(自民市政会)
ふじい ひでき
藤井 英貴

5



問 不審者から命を守る対策は
急務①不審者情報数は②取り組
みは③人がいない場所で鳴るだ
けの防犯ブザーは命を守れない。
品川区で実績20年の「まもるっ
ち」のように通報、状況確認、
駆けつけが一体のGPS・通話
機能付き防犯ブザーの導入を検
討できないか。

答 ①令和4年40件、令和5
年30件、令和6年33件②地域
の方々による登下校時の声か
けや誘導等に加え、みまもり
びとアプリを通じ地域住民が
動く受信スポットとなり、端
末を持った小学生の位置情報
を把握する見守りサービス
令和5年5月から開始③GPS
機能に加え通話機能を備え
た端末は、より高い安心感に
つながると認識しているが、
本市が導入している見守り
サービスは地域全体で子ども
を見守る体制づくりを進める
ものであり、今後もアプリ登
録者数をさらに増やしたい。



児童見守りシステム
(まもるっち)



学校トイレ改修計画の前倒しを!

(ネットワーク佐賀)
とくなが ふみこ
徳永 文子

6



問 ①学校トイレの改修ならび
に洋式化は急務である。未改修
の学校について、改修する学校
を1校でも増やして、計画を前
倒しすることはできないのか②
改修したトイレの環境を長く維
持するために、定期的な清掃を
外部に委託することはできない
か。

答 ①トイレの洋式化は、国
の予算を活用し前倒しして取
り組んでいる。トイレ環境は、
児童・生徒の健康、衛生面に
直結する基礎的な教育環境で
あるため、優先度の高い課題
として位置づけ、スピード感
をもって整備を進めていきた
いと考えている②日常の清掃
活動は、児童・生徒による清
掃を基本としているが、限ら
れた時間の中で十分に行き届
かない箇所が生じる場合もあ
る。このため、衛生面の確保
を図るため、希望する学校に
は、便器清掃業務の外部委託
を実施している。



改修され明るく清潔感のある
トイレ



投資詐欺から市民を守るために

(日本共産党)
やまもと あい
山本 愛

7



問 近年、投資詐欺被害が増え
ている。投資詐欺を未然に防ぐ
ためには、詐欺手口の周知だけ
では不十分で、お金の使い方を
適切に判断する力である金融リ
テラシーを身に付けることが大
切である。幅広い市民に向けた
金融リテラシー講座を検討でき
ないか。

答 18歳から単独で契約が可
能となることを踏まえると、
若年層の段階からの金融リテ
ラシー教育の実施が重要であ
る。現在、高校生には金融経
済教育推進機構や佐賀県銀行
協会が、佐賀大学の学生には
佐賀財務事務所が講師となり、
金融や経済の基礎知識や投資
の仕組みなどに関する教育が
実施されている。市でも啓発
パンフレットの配布や消費生
活講座を実施している。今後
は関係機関との連携をいっそ
う深め、市民が金融について
学ぶ機会の充実に向けた取り
組みを進めていく。



被害が増えている投資詐欺



子どもの学びと成長を支えるために

(公明党)
むらおか たかし
村岡 卓

8



問 市は子どもたちが読書に親
しむ環境づくりのため「佐賀市子
どもの読書活動推進計画」を定め
ている。①市が学校図書館に求め
る役割は②蔵書の質を担保するた
め廃棄と購入を適切に行う必要
があるが現状は③今後の学校図書
館への支援の方針は。

答 ①子どもたちの主体的
な学びを支える学習情報セン
ターとしての役割と、創造力
を培い豊かな心を育む読書セ
ンターとしての役割を求めて
いる②蔵書は管理システムに
より利用状況等を把握しなが
ら、図書館司書が基準に基づ
き廃棄や購入を行い、魅力的
な蔵書となるよう工夫してい
る③学校間および市立図書館
と相互貸借や、図書資料の計
画的な整備により、豊かな読
書経験の充実に努めている。
子どもの主体的な学習活動を
支援するために、学校図書館
の活用を推進したい。



図書館で読書する子どもたち

令和8年度
佐賀市の予算

令和8年2月
定例会の概要

議案等質疑

常任委員会の
審査報告

一般質問

委員会
活動レポート

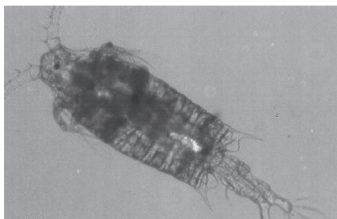
佐賀市議会ガイド

プラスチック問題への対策と備えを



問 海洋プラスチックごみ対策として①まちなかの水路から海へのごみ流出防止対策は②農業用廃プラスチックの流出対策は③プラスチックごみの削減と回収およびリサイクルの取り組みについて、本市の現状と今後の対応は。

答 ①流れやすい軽いごみは、各所に設置したオイルフェンス等でせき止め、週3回から5回程度撤去し、流出が極力少なくなるよう努めている②農業用廃プラスチックの回収に対して支援を行い、適正処理を図ることで、ごみの発生抑制に努めている③プラスチックごみ削減のためにプラスチック問題の啓発やマバッグ等の利用促進を行っている。また、ペットボトルの定期回収等を行い、気軽にリサイクルできる環境整備を行っている。今後も継続して市民に周知を図っていきたい。



光るプラスチックの破片を食べた動物プランクトン

令和8年度
佐賀市の予算

令和8年2月
定例会の概要

銚子塚古墳の周辺環境整備を



問 ①金立町の銚子塚古墳は、県内最大クラスの前方後円墳だが、周辺道路が狭く車で行き来できない。周辺の土地を民間が取得し、利活用を検討しているが、市の協力は考えられないか②墳丘に木が生い茂り、景観を損ねているが、伐木等の整備は考えられないか。

答 ①まずは、土地を取得された方から十分にお話を伺ってみたい。その上で、文化財の保全や活用といった点に関し、市としてできる部分については、ぜひ協力していきたい②この古墳には、スギやサクラ、クロガネモチといった樹木が多くあり、中には枝が伸び過ぎていたり、枯れかけていたりするものも見受けられる。国の史跡なので、国への手続きが必要となる場合があるが、古墳への影響がないよう留意しながら、適切な管理に努めたい。



木が茂り古墳の景観を損んでいる銚子塚（金立町）

議案等質疑

常任委員会の
審査報告

市道三溝線付近の交通環境を問う



問 佐賀商業高校東側の一方通行に対し交差する道路が、抜け道として利用されるケースが増加。①自転車と自動車の交錯による事故の危険性が高いと思われるが把握しているか②道路構造に改善の余地がある。優先道路の見直しなど交通安全対策を検討すべきでは。

答 ①当該交差部は、登下校時に自転車利用の生徒が多く通行する一方、生活道路の抜け道として自動車の通行も一定数あることから、自転車と自動車と交錯するなど事故の危険性がある箇所として把握している②一方通行や進入禁止の標識の視認性向上、逆走防止に向けた進入抑制の工夫さらには優先道路の見直しを含めた交通安全対策について、周辺の交通実態を踏まえながら、交通規制を所管する佐賀県警察および道路管理者と協議を進めていく。



正解は、一時停止？直進？右折？左折？

一般質問

委員会
活動レポート

安心して避難できる環境と情報発信



問 避難時における運営体制や支援体制など市の防災対策はどのような取り組みを行ってきたか①指定避難所の多目的トイレ、入り口付近のスロープは整備されているか②本市のホームページ等に多目的トイレ、スロープ等の施設設備が設置されているか掲載しては。

答 ①指定避難所81カ所のうち、多目的トイレを備えている施設は78カ所、スロープを備えている施設は80カ所。未設置箇所については、今後の改修工事の機会に整備を進めたい②指定避難所については、市のホームページ等に掲載しているが、多目的トイレ、スロープ等の設備の有無については掲載していない。これらの情報を表示することにより避難所選択の一助になると考えており、今年の出水期までに市のホームページ等に情報を掲載し、安心して避難できる環境を整えたい。



指定避難所における多目的トイレ

佐賀市議会ガイド



女性活躍を佐賀市の未来の力に！

(自民市政会)
もろごみ やちよ
諸富 八千代



13



引換券からナプキンが置かれた市役所1階女子トイレ

問 第5次男女共同参画計画案が提出された。①策定状況は②公共施設と学校での生理用品設置は③困難女性の支援体制は④庁内男性職員の育休の質の向上は⑤女性管理・監督職の登用は⑥女性特有の健康課題への理解促進、人材育成研修は⑦市長の決意を問う。

答 ①現在最終的な策定作業中②市役所本庁舎と青少年センターではトイレ8カ所に、市立小・中学校では53校中45校がトイレに、残りは保健室に常備③こども家庭センター内に女性相談支援員を2名配置④長期取得の促進に取り組んでいる⑤年々増加し今年度は目標の25%を初めて達成⑥職員へ女性特有の健康問題の情報提供をしているが、研修は今後検討。人材育成研修は実施している⑦社会全体で向き合うべき課題と考えており、ジェンダー平等が当たり前の佐賀市を築いていきたい。

令和8年度
佐賀市の予算

令和8年2月
定例会の概要



認知症になっても自分らしく！

(公明党)
なかしま たえこ
中島 妙子



14



認知症の本人大使は、自らの言葉で希望を発信します

問 認知症は誰もがなり得る。①早期発見・早期治療の取り組み内容は②認知症当事者の声を聴き、暮らしやすいまちづくりにつなげていく「本人参画」の取り組み内容は③認知症の方に対する効果的なケア技法であるユマニチュードを本市でも普及啓発できないか。

答 ①おたっしや本舗において認知症の方や家族への支援体制を強化した。また、早期の相談や受診につながるよう「佐賀市版認知症ケアパス」を刷新し、市報に認知症特集を掲載した②市内15カ所のおたっしや本舗で、本人ミーティングや座談会などを通して認知症の方や家族の思い、意見を伺っている③認知症サポーター養成講座の中でユマニチュード技法と類似したコミュニケーション技法を紹介している。市民向け講座へのユマニチュードの導入については、調査、研究したい。

議案等質疑

常任委員会の
審査報告



障がい者の新しい課題への対応は？

(自民さが)
みやさき たけし
宮崎 健



15



便利になったタッチパネルも障がい者にとっては一苦勞

問 ①読書バリアフリー法および読書バリアフリー計画についての本市の見解は②障がい者へのデジタルデバイス解消に向けた対策は③佐賀市障がい者プランの読書バリアフリー法への対応やデジタルデバイス対応の項目を充実させるべきではないか。

答 ①読書バリアフリーの推進に係る計画と位置付けて、令和3年に第3次佐賀市立図書館サービス計画を策定した。対面朗読や電子図書館等のサービスを行うっており、次期計画は図書館本館のリニューアル時に策定予定である②障がいの特性に応じたコミュニケーション手段を利用できる環境整備を進めており、デジタルと人による支援の相互補完が重要と考える③現行計画でも対応しているが、次期プランの策定では、状況変化や多様なニーズを踏まえ、内容の充実を図っていききたい。

一般質問

委員会
活動レポート



コロナ禍とは何だったのか！？

(参政党)
やました かつや
山下 勝也



16



コロナワクチン接種後の健康被害が心配だなぁ

問 日本のワクチン追加接種は世界と比べても高い水準にあり、健康被害だと気付いていない人も多い。行政が窓口だと知らない人も多い①佐賀市はどことが窓口になるのか②今後健康被害が増えることが予想されるが、市は独自に接種後の検証を行う考えはあるか。

答 ①ワクチン接種後の健康被害の相談は健康づくり課で対応。健康被害の相談や申請には保健師による丁寧な相談対応を行っている②健康被害に関する検証には、全国的に統一したデータ収集や客観的で信頼性の高い最新の科学的知見に基づく専門的な審議を行い、評価・検討を行う必要があるが、市独自でワクチンの検証を行うことは困難であると考えられる。今後も引き続き、予防接種による健康被害の不安を感じている市民に対する適切な相談対応やその後のサポート等に取り組むたい。

佐賀市議会ガイド

世界遺産を次世代へ継承しよう！



佐野常民と三重津海軍所跡の歴史館

問 三重津海軍所跡を構成資産とする世界遺産は昨年、登録から10周年を迎えた。①記念事業の内容、参加人数は②若者が楽しい！面白い！と思える工夫は③佐野常民と三重津海軍所跡の歴史館の屋外展示整備の内容は④今後、どのように来館促進を行うのか。

答 ①「佐賀藩と鉄」等の企画展、世界遺産登録記念日のセミナーや記念植樹などを行い、延べ7万人に関わってもらっている②市立の全小・中学校で、世界遺産給食を実施。さらには、ウェブコンテンツの実装と活用を進めたい③地下遺構の平面表示、解説案内サインの整備などを行う④市内の歴史施設や文化施設などと連携し、回遊を促す取り組みを行い相互の施設の来客の促進を行う。併せて、若い人が楽しめるイベントの開催や分かりやすい展示の工夫に心がけていきたい。

令和8年度 佐賀市の予算

令和8年2月 定例会の概要

市街化調整区域の利点と集落維持



農業振興や人口減少対策などが課題の市街化調整区域

問 ①市街化調整区域の農業振興地域において農業を行うことの利点は②青地に分家住宅を建てるまでの手順と所要期間は③開発の規制緩和の現状は④空き家対策について広く知ってもらうために、相談窓口を本庁以外にも設置の検討ができないか。

答 ①農業振興地域では、土地改良事業や多面的機能支払交付金制度などの対象となり、農業生産基盤の整備や農業生産の安定化を図る投資が行われている②分家住宅の建築には農振除外、農地転用許可、開発許可が必要。農振除外は約9〜10か月、農地転用・開発許可は約1〜2か月を要する③50戸連檐制度や分家住宅制度、既存宅地制度廃止に伴う救済措置制度などにより、特例的に開発を可能としている④各支所での巡回相談会の実施に向け詳細を検討している。

議案等質疑

常任委員会の 審査報告

特定空き家の行政代執行の可能性は



鉄骨の先が削り取られて刃物の先のようにとがっている

問 倒壊したら鉄骨の先が隣家に突き刺さる恐れや2階の鉄骨が隣家の屋根に落下する恐れがあるなど、危険な状態の空き家があり、近隣住民が大変困っている場合の対応は。また、所有者等に対して、指導しても改善されない場合、市での代執行は可能か。

答 個別の事案に応じた対応となるが、基本的には、自主的な改善を促すため、助言、指導等を文書等でを行い、対応されない場合は、直接訪問し、面談等を行う。その後、勧告を行っても改善されない場合は、法定の手続きを経て、危険を解消するよう命令し、履行されない場合、危険性、必要性、相当性を考慮しつつ、市が必要な措置を代執行することとなる。なお、空き家が著しく危険な状態で重大な損害を及ぼす恐れがあると認めるときは、市で緊急的な措置の実施を検討する。

一般質問

委員会 活動リポート

ごみのポイ捨てがない佐賀市へ



「ポイ捨て禁止！」市が設置する看板の例

問 ①市ではごみのポイ捨てに對しどのような指導をしているか②警察に通報・指導した数は③必要な箇所にはごみのポイ捨てを禁止する看板を設置しては④学校での清掃ボランティアの実態は⑤さらに広報や啓発活動に力を入れるべきでは。

答 ①パトロール班が土日を除く毎日、巡視を実施。悪質な不法投棄には警告看板や監視カメラの設置などで対応。排出者への直接指導や警察への通報も実施②通報件数は令和5年度6件、6年度6件、7年度7件。嚴重注意は各年度1件、2件、2件③注意喚起看板の作成など、状況に応じて対応している④小学校ではPTAや地域と連携し、中学校では生徒会を中心に実施。市はボランティア袋の利用案内やごみ回収等で支援⑤効果的な広報や啓発について今後も検討していきたい。

佐賀市議会ガイド

*1 農振除外……農業振興地域内の農用地区域(通称「青地」)に指定された農地を、住宅建設や駐車場、資材置場など農業以外の目的に利用する際に、その地域指定から外すための手続き。
 *2 50戸連檐制度……市街化調整区域内のおおむね50以上の建築物が連檐している区域で、一定の条件を条例で定めることにより開発行為を可能とする制度。



レジ袋をごみ出しに使える仕組みを

(STEP-UP FOR SAGA)
なんり あけみ
南里 朱美

22



レジ袋をそのまま捨てられる
仕組みへ

問 ①制度上、指定ごみ袋のばら売りは可能か②ばら売りをを行うに際し、どのような課題があるか③市民の利便性向上やプラスチックごみ削減の観点から、レジ袋として購入でき、そのままごみ出しにも使えるように指定ごみ袋のサイズや販売方法を検討できないか。

答 ①条例では販売時の枚数に規定を設けておらず、制度上は可能である②製造コストの増加や生産効率への影響が考えられる。また取扱品目の増加により店舗内や保管倉庫内のレイアウト変更を要すなど、販売、保管、配送の面でも負担やコストの増加が考えられる③指定ごみ袋の小容量化には手数料条例の改正が必要であり、ばら売りするには製造、流通、販売など各段階での課題を整理する必要がある。先進自治体の取り組み状況を参考にして導入に向けた課題の整理から進めたい。

令和8年度
佐賀市の予算

令和8年2月
定例会の概要



火災予防条例改正、農家への周知を

(自民さが)
かわそえ りゅうのすけ
川副 龍之介

23



野外焼却は細心の注意を払いましょ

問 林野火災の未然防止と被害軽減を目的として火災予防条例の一部改正され令和8年1月1日に施行された①佐賀中部広域連合火災予防条例の改正の内容は②野外焼却が認められている農家に対して、条例の改正や野外焼却の注意事項の周知は行っているのか。

答 ①乾燥状況や降雨量などの気象条件に応じて「林野火災注意報」、さらに強風などで危険性が高まった際には「林野火災警報」を発令する仕組みを設けた。林野火災が発生しやすい1月から5月までを対象期間とし、警報発令中の指定区域内でのたき火等の火の使用禁止、違反者に対する罰則を規定している②佐賀広域消防局と連携して作成したチラシ「野外焼却による火災に注意」を本年1月にJAが発行する機関誌への折り込み広告を行うなど、農家等への周知を行っている。

議案等質疑

常任委員会の
審査報告



LibreOffice導入

(自民さが)
えはら しんこ
江原 新子

24



PC操作は業務上欠かせない！
効率よく安全に進めたい！

問 本市において業務用PCソフトLibreOfficeの導入が始まっている。コスト削減や大手ソフトウェアサポートの動向を鑑み有効ではあるが、操作性・互換性・外部との調整等に課題があると考える。今後の取り組み方を問う。

答 互換性については、基本的には使用可能なレベルであると判断して導入したが、外部とのやり取りが多い部署には、マイクロソフトのオフィスソフトを個別に配布するなどの対応をしている。操作性については、今後の対応として、マニュアル類を充実させることや、操作に関するQ&Aのグループウェアへの掲載、また、操作研修などを実施していきたい。今後もLibreOfficeの使いやすい環境づくりに努めていく。

一般質問

委員会
活動リポート



小1からネット依存の兆し！？

(自民市政会)
おかやま かおり
岡山 香織

25



スマホがないとイライラする！

問 ネット利用は小4で急増中。空白域である低学年からの実態調査も必要と考える。①他自治体で実績がある、親子で振り返る「ネット依存チェックシート」などの活用の検討を②善き使い手を育てる「デジタル・シティズンシップ教育」導入が必要ではないか。

答 ①子どもたちがスマートフォンやインターネットの使い方を振り返るために、チェックシート等を用いて使い方をチェックすることは意味があると考ええる。他市町の取り組みを研究し、現在の本市の取り組みの見直し等も含めて市PTA協議会とも協議を進めたい②デジタルの利用については、これからは大人の介入より子ども自身の主体性が求められると考える。学校における情報モラル教育をいっそう充実させるとともに、保護者と連携を図りながら、その方向に沿いたい。

佐賀市議会ガイド



不登校支援と学びの場について

(自民市政会)
やまさき じゅん
山崎 純



26



不登校の子どもを孤立させない

問 ①不登校児童・生徒数の推移と本市の支援の取り組みは②小学生期の不登校対応の課題は③家庭や学校以外の居場所やフリースクール等の学びの場の捉え方は④支援の選択肢の拡充は⑤令和8年度予算における教育施策に関する予算の考え方は。

答 ①過去5年間で増加はしているが、全国や県との比較では、小・中学生とも増加幅は小さい。スクールカウンセラー等の心理的なサポート、相談員の家庭訪問、家庭学習支援等の多層的な支援を進めている②不安の言語化の不熟さや環境変化の影響が大きい③子どもが一歩踏み出す重要な動機づけになる④ICT学習支援等、さまざまな選択肢を拡充⑤訪問支援、相談対応、校内外の居場所へのつながり支援を担うサポート相談員の増員等、相談支援体制を強化した予算編成としている。

令和8年度
佐賀市の予算

令和8年2月
定例会の概要



政策決定の場に当事者の参画を

(市民共同)
やました あきこ
山下 明子



27



政策検討の準備段階から多様な当事者の参画で知恵出しを

問 本市が新たな施策や政策を検討する場合や各種審議会などに女性、障がい、高齢者、子育て、中小事業者、外国籍をはじめ、それぞれの施策に関わる当事者が、多様な視点で準備段階から直接参画できる仕組みを市としてつくる考えは。

答 政策形成や計画策定ではさまざまな観点から多角的に検討していく必要があり、その過程で当事者の意見を把握し、政策等に生かしていくことは重要。そのため検討の段階から当事者の意見等を聞き、それらをもとに政策等を組み立てる姿勢が必要。その手法は、当事者へのヒアリングやアンケートの実施など、さまざまな形が考えられ、今後も当事者の多様な声を丁寧に受け止め、実効性の高い施策につなげる手法について、工夫を重ねて多様な声に寄り添った市政運営を行いたい。

議案等質疑

常任委員会の
審査報告

議場見学に来てくれました！

1月16日（金）、金立小学校6年生の皆さんと日新小学校6年生の皆さんが、議場の見学に来てくれました。事務局職員が講師となって、議会の役割や仕組みなどについて説明を行いました。また、議場を使って、議員役や市長役等に分かれて模擬議会を行いました。

普段はなかなか入ることができない議場に、子どもたちは興味津々の様子でした。



金立小学校6年生の皆さん



日新小学校6年生の皆さん

一般質問

委員会
活動レポート

佐賀市議会ガイド